

2021年度 ケーブルテレビ放送番組審議会
(ゆうがおチャンネル)
議事録

1. 概要

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み書面による審議
審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数11名のうち全員の回答がありました。

2. 審議委員 (敬称略)

広瀬	寿雄	会長	(下野市長)
小菅	一弥	副会長	(壬生町長)
星野	光利	副会長	(上三川町長)
長	光博	委員	(下野市商工会会長)
吉田	宗司	委員	(石橋商工会会長)
赤羽根	信行	委員	(壬生町商工会会長)
鶴見	秀昭	委員	(上三川町商工会会長)
森平	芳彦	委員	(下野警察署長)
須田	実	委員	(石橋地区消防組合消防本部消防長)
松本	文男	委員	(下野市男女共同参画推進委員会委員)
黒川	久美	委員	(壬生町女性団体連絡協議会会長)

3. 報告事項

【 全体 】

- (1)新委員の委嘱に関する報告
- (2)放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3)ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告 (2021年度)

【 コミュニティチャンネル関連 】

- (1)2021年 コミュニティチャンネルに関する報告
 - ① コミュニティチャンネル概要
 - ② 主なレギュラー番組 (2021年度実施)
 - ③ 主な特別番組 (2021年度実績)

4. 議事

(1) 事前にご視聴をお願いした番組に対するご意見・ご感想について

【審議対象とした番組】

- ① 特別番組「壬生町のシンボルにオオムラサキの里を作る会」
- ② YOU 顔マルシェ (ダイジェスト版)
 - 3/29 放送「上三川町を聖火が通過」
 - 5/24 放送「国体まで 500 日 ラッピングバスがお披露目」
 - 9/ 1 放送「上三川町内小中学校で分散登下校はじまる」
 - 11/19 放送「下野市洪水ハザードマップがより使いやすく」
 - 11/19 放送「会場から生中継！いよいよ明日 全国藩校サミット壬生大会」
- ③ 中学生向け県立高校紹介 11/9 放送 石橋高校
- ④ 自治体広報番組
 - しもハピチャンネル 12 月号▽グリムの森 お菓子の家▽きらら館トレーニング室
 - 壬生ほっとチャンネル 12 月号▽年末年始の町役場業務▽水道管の凍結・破裂防止
 - チャンネルかみたん 11 月号▽住宅用火災警報器▽第三者行為の届出▽4Hクラブ協議会
- ⑤ 安全安心だより「おねがい 止まって とちぎ県」
- ⑥ 特別番組「新型コロナウイルス感染症対策 ワクチンの必要性」

【ご意見・ご質問 及び 回答】

① 特別番組「壬生町のシンボルにオオムラサキの里を作る会」

【委員】 郷土を愛する心情が伝わる構成で、とても感銘を受けた。

【委員】 ドキュメント風で非常に目を引く番組だった。

【委員】 新人ディレクターの新しい感性、一生懸命さが見えた。

オオムラサキが素晴らしい蝶であると感じた。

【委員】 本当に良く出来ていると思う。「オオムラサキを育てる事が人を育てる」という点がよく理解出来る内容だった。

【委員】 冒頭のオオムラサキが美しく掴みが良い。番組ロゴも良く、説明の写真が分かりやすかった。命の尊さ、子どもの教育、町の木を紹介、地域作りと内容がよくまとまっている作品。大島さんと一緒に歩くシーンは画面揺れが多く、見難かった。文字の色(オレンジ)が背景と同化していた。

【CATV】 ドキュメンタリーとして、臨場感のある撮影を心掛けましたが画面の揺れが軽減できるよう、機器の導入や撮影技術の向上で補えるよう努めてまいります。また見やすいテロップ配色を心掛けます。

② ダイジェスト版「YOU 顔マルシェ」

- 【委員】 地域密着の情報をタイムリーに放送しているので親近感がわいた。
- 【委員】 話題のバランスが良かった。特に藩校サミット前日の生中継はスピード感、ライブ感があり、素晴らしいアプローチと感心した。
- 【委員】 郷土のよさ、楽しさがよく紹介されている。
- 【委員】 様々な活動を放送するのは、活動をしている方々の励みになると思う。
- 【委員】 地域密着のメディアとして、地域の声に耳を傾け、必要な情報発信を今後も引き続き届けて頂きたい。
- 【委員】 国体ラッピングバスの話題は、各首長が園児と同じ目線になるよう対応している映像に好感が持てた。
- 【委員】 下野市ハザードマップの話題は、実際に冊子を開く動作があり、使いやすさが伝わった。市境の避難所の説明がある等、近隣市町の連携が紹介され、説明が丁寧だと感じた。
- 【委員】 聖火リレーは臨場感があり、吹奏楽部の演奏等、町の「みんな」で盛り上げている感じが伝わった。インタビューも聖火リレーにかける一人一人の想いが伝わる内容だった。「8市町をつなぐ」説明に地図等補足情報が入るとより伝わりやすい。上三川町分散登下校の話題も、具体的な下校時間等をテロップで補足したほうが分かりやすい。
- 【委員】 藩校サミット前日の生放送は新鮮だった。裏方として関わる人々の想いや、これから始まるワクワク感が伝わった。一方で、アナウンサーの移動で息が上がって（マスク着用も重なって）少し聞き難いところがあった。テロップが出るタイミングが遅れたり、アナウンサーが終わりの時間を意識して焦っているような感じがしたりして、気になった。
- 【CATV】 言葉でわかりにくい点は図解を入れる等、視聴者に分かりやすい番組制作を心掛けます。現場の臨場感が伝わる生中継の実施、地域の魅力をより発信できる手法を積極的に取り入れると共に、地域で活躍されている方々の想いをお茶の間に届けられるよう今後も取材活動を続けてまいります。

③ とちぎ HOT ステーション【中学生向け県立高校紹介】石橋高校

【委員】 地元の学校のカラー、そして学校の「今」を紹介することで、現役中学生の関心をより一層高めることができていると感じる。

【委員】 高校紹介の企画はタイムリーで good でした。

【委員】 現役高校生の、生の声が多く採用されていてよかった。

「一日体験入学中止を受けて」というのがコロナ禍の時代にあってよい。部活動紹介の場面で賞状が反射して見えにくかった。

【CATV】 より細かな点に配慮して撮影できるよう技術向上を図ります。

コロナ禍で多くの子どもたちが活躍の場を制限されている中、教育機関に協力を呼びかけ、子どもたちががんばる様子を地域の皆様にお伝えできるよう、企画、提案、制作してまいります。

④ 自治体広報番組「しもハピチャンネル」「みぶ HOT チャンネル」「チャンネルかみたん」

【委員】 若い職員を活用した役場業務の紹介は、町民へのアピールにつながる。

【委員】 いずれの自治体も職員が丁寧に紹介し、特色ある内容になっていた。自分の住む地域をもっと知ろうという気持ちになる番組構成を期待する。

【委員】 「しもハピチャンネル」はグリムの森やきらら館など事業者の宣伝として活用できると感じた。「みぶ HOT チャンネル」の年末年始業務時間案内は住民に親切な話題。「チャンネルかみたん」は句読点を無視して話しているところがあり、聞きづらかった。写真が多いと華やかな印象になる。最初と最後にあいさつが入るとまとまった印象になるのでは。

【委員】 コロナ禍とはいえ、感染予防をした上でマスクは外してもらいたい。表情・口の動きは大切。

【CATV】 感染拡大状況をみながらその場に応じた感染症対策を講じて撮影します。それぞれの市町の広報ご担当者様と相談をしながら、市政・町政を身近に感じていただける番組にしてまいります。

⑤ 安全安心だより「おねがい 止まって とちぎ県」

【委員】 地域住民の安全安心に資する情報発信はとても良い。

【委員】 警察署と連携して継続して草の根的に今後も情報発信を望む。

【CATV】 交通安全や特殊詐欺被害防止等、今後も役立つ情報発信を行い、安全安心の街づくりに向けて地域の皆様への啓発活動を続けてまいります。

⑥ 特別番組「新型コロナウイルス感染症対策ワクチンの必要性」

- 【委員】 ワクチンに関する事が詳しく説明しており、安心感につながった。
- 【委員】 正しい知識・対応の習得に、川島先生の話は大変有意義な内容だった。
- 【委員】 地域の身近な医師から分かりやすい説明や対応策など、全国版とは違ったアプローチで、情報発信をぜひ継続してほしい。
- 【委員】 国民が不安に思う関心事を、医師がメーカー名など信頼できるデータをもとに丁寧に説明されたので安心できる番組だった。自分でできる予防もまとめていたのがよかった。PEGアレルギーに対する医師の発言とテロップの差異があった(医師：無理、テロップ：難しいかもしれません)
- 【CATV】 新型コロナウイルス感染症対策について、地域の皆様にとって必要な情報を把握し、今後もニュース番組、データ放送、特別番組とあらゆる番組枠を活用し、適時、的確にお知らせをしてまいります。テロップの差異はより分かりやすい表現に変えて編集いたしました。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

- 【委員】 地域で活躍される人材、グループ、普段目にする機会が少ない居住自治体以外の行政情報など、視聴者へ情報提供する貴重な番組だと感じる。
- 【委員】 地域に密着した番組で、今まで知らなかった情報を知ることができて良い。市役所や役場等が、広報誌の重要な部分を詳しく説明しているのが良い。入学式・運動会等子どもたちの元気な姿や、新型コロナウイルス感染症の情報等、現在の旬な情報を随時放送するのはよいことだと思う。
- 【委員】 自治体ごとの行事やニュースが解ってよい。このまま続けていただきたい。
- 【委員】 これからも地域の方への番組制作をお願いします。
- 【委員】 そこそこ良いのではと思います。
- 【委員】 地域の特性に応じた、安全（生命、身体、財産等）に資する情報発信はありがたい。
- 【委員】 コミュニティチャンネルは、地域のイベントをアナウンスすることで住民に関心を持っていただくことができるので、非常に有用。地域密着の観点から、身近なものや生活に役立つ情報など、今後も発信し続けることを期待する。
- 【委員】 地域の身近な情報をタイムリーに届けることがコミュニティチャンネルに求められている。今後も新型コロナウイルスなど速報性が求められる情報を含め、地域密着のよりよい放送ができるよう期待している。
- 【委員】 見逃しても再放送があるのでその点は良い。もう少し新しい番組があると新鮮味があり見てみようと思う。郷土感はあるがマンネリ感が否めない。

- 【委員】 コロナ禍で多くのイベントが中止になり、話題が少ない中でも市民のニーズに即した新番組を制作されることを期待する。これからも安全安心や市民生活の充実につながる情報を流すとともに、地域ごとの魅力を内外にアピールできるよう努力していただきたい。
- 【委員】 コミュニティチャンネルならではの番組構成をこれからも努めて欲しい。やはり自分(視聴者)の家族、子どもが放送されるのが一番興味を持つことなので、今後もスポーツ・文化活動に力を入れ、家族の顔を全面に打ち出した番組作りに努力してほしい。
- 【CATV】 今後も地域の皆様のご期待に沿えるよう「地域密着」を第一に心掛け、家族が笑顔になれる身近な話題としての地元スポーツ、歴史・文化、子どもたちの成長など、地域の「宝」を映像に残し、放送してまいります。常に新鮮さを感じていただけるよう新番組制作にも積極的に取り組んでまいります。2020年から続くコロナ禍により多くの人が集まる機会が減り、地域のコミュニケーションの場は少なくなりつつありますが、取材活動、コミュニティチャンネルでの放送を通じて、地域の絆を今一度固く結び、地域の活性化に貢献してまいります。

以上